

◎ 詳細検討対象

◎ 詳細検討対象

◎ 詳細検討対象

	【A】 レイヤー案	【B】 プロムナード案	【C】 雁行案	【D】 大縁側案	【E】 ゲート案	【F】 コの字案	【G】 矩形案	
優先度レベル	配置ダイアグラム							
レベル1	大屋根広場の防音性	* 開口部に可動壁等を設置することで防音性を高めることができる。 ○	* 建物ボリュームで囲まれていないため、防音性は低い。 ×	* 開口部に可動壁等を設置することで防音性を高めることができる。 ○	* 建物ボリュームで囲まれていないため、防音性は低い。 ×	* 開口部に可動壁等を設置することで防音性を高めることができる。 ○	* 開口部に可動壁等を設置することで防音性を高めることができる。 ○	
	大屋根広場と多目的スペース・文化体験スペースの一体的利用のしやすさ	* 大屋根広場に多目的スペースと文化体験スペースが隣接しており、一体利用がしやすい。 ◎	* 大屋根広場に文化体験スペースが隣接しており、一体利用がしやすい。 ○	* 大屋根広場に多目的スペースと文化体験スペースが隣接しており、一体利用がしやすい。 ◎	* 大屋根広場に文化体験スペースが隣接しており、一体利用がしやすい。 ○	* 大屋根広場に多目的スペースと文化体験スペースが隣接しており、一体利用がしやすい。 ◎	* 大屋根広場に多目的スペースと文化体験スペースが隣接しており、一体利用がしやすい。 ◎	
	地域交流センターとの連携	* 地域交流センターに面して緑地があるため、一体的な空間として連携を取りやすい。 ◎	* 地域交流センターに面して緑地があるため、一体的な空間として連携を取りやすい。 ◎	* 地域交流センターに面して緑地があるため、一体的な空間として連携を取りやすい。 ◎	* 地域交流センターに面して芝生広場があるため、一体的な空間として連携を取りやすい。 ◎	* 地域交流センターに面して緑地があるため、一体的な空間として連携を取りやすい。 ◎	* 歩行動線は確保されているが、駐車場により分断されており、一体的な空間として連携はとりにくい。 ○	* 地域交流センターに面して大屋根広場があるため、一体的な空間として連携が取りやすい。 ◎
	芝生広場の活用	* 飲食施設との連携が取りやすい。 * 大屋根広場との一体活用は難しい。 △	* 飲食施設との連携が取りやすい。 * 大屋根広場との一体活用は難しい。 △	* 飲食施設との連携が取りやすい。 * 大屋根広場との一体活用が可能。 △	* 飲食施設と距離があるため、連携が取りづらい。 * 大屋根広場との一体活用は難しい。 ○	* 飲食施設との連携が取りやすい。 * 大屋根広場との一体活用が可能。 ○	* 飲食施設との連携が取りやすい。 * 大屋根広場との一体活用が可能。 ○	* 飲食施設との連携が取りやすい。 * 大屋根広場との一体活用が可能。 ○
レベル2	温浴・飲食機能の一体管理のしやすさ、維持管理等	* 飲食施設が分棟になるため、一体管理は難しい。 * 温浴施設はまとまっているため管理しやすい。 △	* 全ての機能が一棟に集約しているため、一体管理はしやすい。 * 一棟構成のため、機械室は集約しやすい。 ○	* 建物ボリュームが二棟に分かれて機能が分散しているため、一体管理は難しい。 * 分棟のため、空調室外機など各棟ごとに設ける必要がある。 ○	* 全ての機能が一棟に集約しているため、一体管理はしやすい。 * 一棟構成のため、機械室は集約しやすい。 △	* 建物ボリュームが二棟に分かれて機能が分散しているため、一体管理は難しい。 * 分棟のため、空調室外機など各棟ごとに設ける必要がある。 △	* 全ての機能が一棟に集約しているため、一体管理はしやすい。 * 建物がコンパクトにまとまっているため、維持管理しやすい。 ○	* 建物ボリュームが二棟に分かれて機能が分散しているため、一体管理は難しい。 * 分棟のため、空調室外機など各棟ごとに設ける必要がある。 △
	通りからの大屋根広場の視認性	* 前面道路と大屋根広場の間に建物があるため、視認性に欠ける。 ×	* 前面道路に対して距離があり、周辺建物の背後にあるため、視認性に欠ける。 ×	* 一部前面道路に開かれており、視認性は比較的高い。 ○	* 前面道路に面するため、視認性は非常に高い。 ◎	* 前面道路に開かれており、視認性は高い。 ○	* 前面道路に開かれており、視認性は高い。 ○	* 敷地中心からやや東に寄っているため、前面道路からの視認性はやや劣る。 △
	空間の豊かさ	* レイヤー状に機能が配置されることで、敷地内に多様な性質の空間をつくりやすい。 ◎	* プロムナードに面して様々な機能が表出しているが、大屋根広場や単一機能のみが面しているため、やや単純になりやすい。 △	* 雁行して機能が配置されることで、敷地内に多様な性質の空間をつくりやすい。 ◎	* 大屋根広場と芝生広場が分断しており、それぞれ面する機能が限定されているため、やや単純になりやすい。 △	* 芝生広場と大屋根広場が大きく接しているため見通しの良いが、建物形状がやや単純になりやすい。 △	* 大屋根広場に面して多様な機能が表出しているが、建物形状が単純になりやすい。 △	* 大屋根広場に面して多様な機能が表出しているが、建物形状が単純になりやすい。 △
	駐車場の台数	* 附置義務台数を満たしている。 * 70台想定。 ○	* 附置義務台数を満たしている。 * 70台想定。 ○	* 附置義務台数を満たしている。 * 54台想定。 ○	* 附置義務台数を満たしている。 * 70台想定。 ○	* 附置義務台数を満たしている。 * 59台想定。 ○	* 附置義務台数を満たしている。 * 65台想定。 ○	* 附置義務台数を満たしている。 * 67台想定。 ○